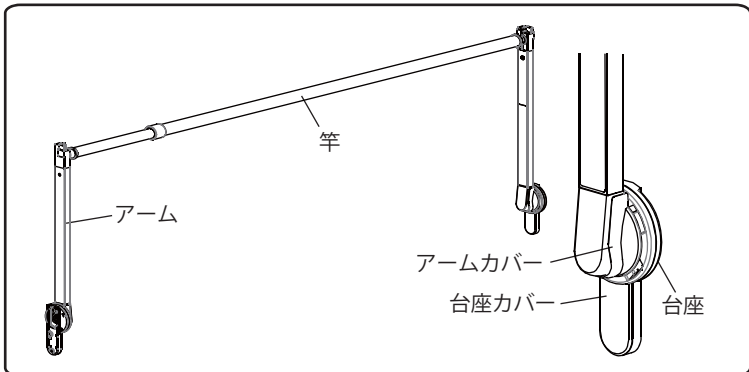


施工説明書

■施工される方へのお願い

- お客様にこの物干しを正しくご使用いただくために、施工説明書をよくお読みになり、指定された取付けを行ってください。
- 施工終了後に、取扱説明書に従って、操作確認を行ってください。

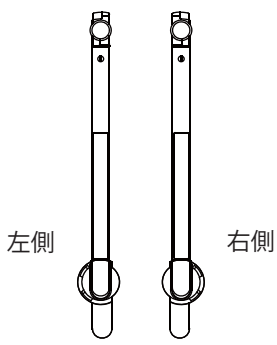
各部名称



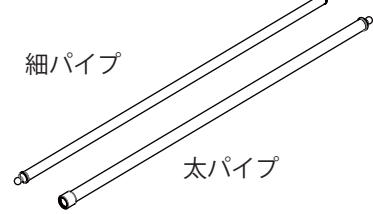
部品明細

下図に描かれた部品が揃っているかご確認ください。

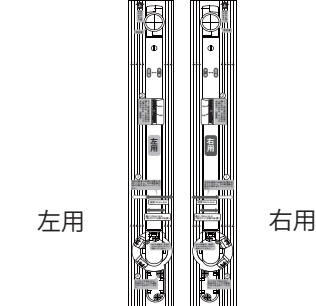
■アーム部・・・1組



■竿部・・・1組



■位置決め用型紙・・・1組



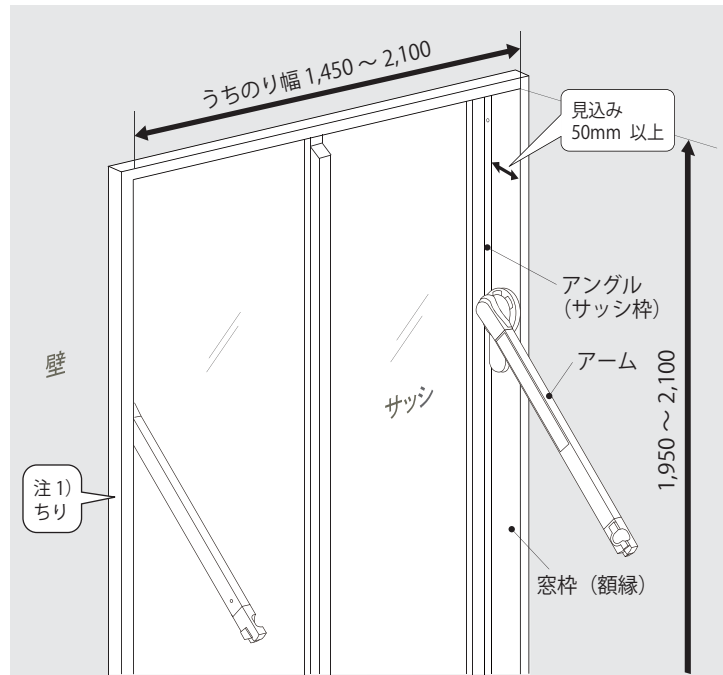
■タッピンねじ・・・6本



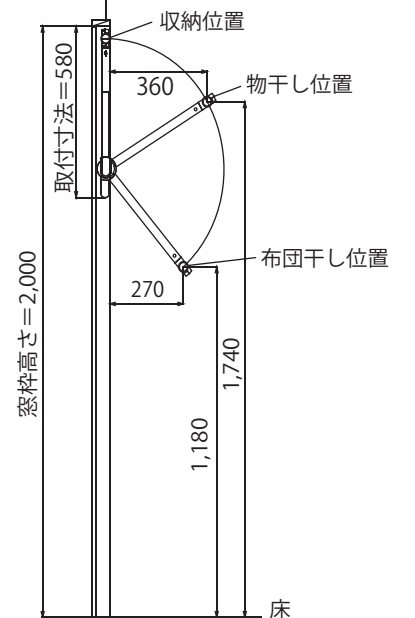
取付場所の確認

■施工条件

- 適応するサッシの高さは、1,950～2,100mm、うちのり幅は、1,450～2,100mmです。
- アーム取付場所はサッシ額縁の見込み部分（50mm以上）で、十分な強度がある箇所。
なお、台座がアングルに被らないように（左右にない場合は、上下のアングルより前に）取付けてください。
また、クロス巻込みで額縁のない場合は、クロスの下に9mm以上の木の下地が必要となります。
- 取付け時の注意事項
(注1) 額縁の手前に取付ける場合には、タッピンねじがちり部分から、とび出ないように注意してください。

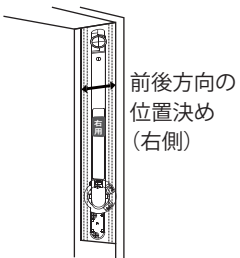


■取付位置関係図 (高さ 2,000 の場合)



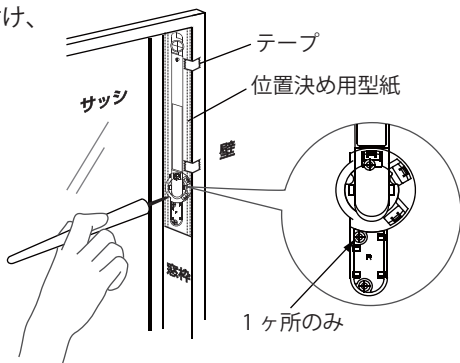
取付方法

1 位置決め用型紙を窓枠（額縁）にあて、前後方向の位置を確認し、任意の位置で点線を切り取ります。
(右側の窓枠には右用の型紙を、左側の窓枠には左用の型紙をご使用ください。)



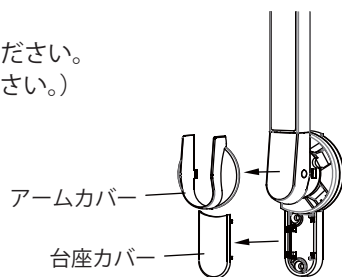
2 型紙の上端を窓枠の上角部に合わせ、テープなどで仮止めします。

3 図の1ヶ所（中央）をキリなどを使って印を付け、型紙を外します。次に、木の硬さに応じて窓枠にΦ2.5～Φ3.0の下穴を開けます。
注) 下穴を開けない場合、木が割れることもあります。

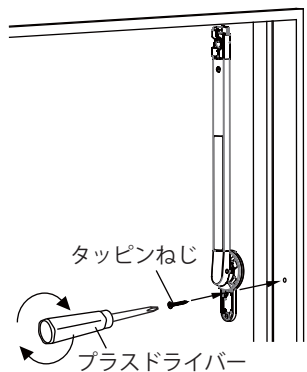


注意 ロールスクリーンやブラインド等のある窓枠へ取付ける場合、取付け位置によっては接触する場合があります。
施工の際には竿の動き等を確認の上、取付け位置を決めてください。

4 台座カバーとアームカバーを外してください。
(台座カバーは裏側より4ヶ所のツメを押してください。アームカバーはスキマを利用して引張ってください。)

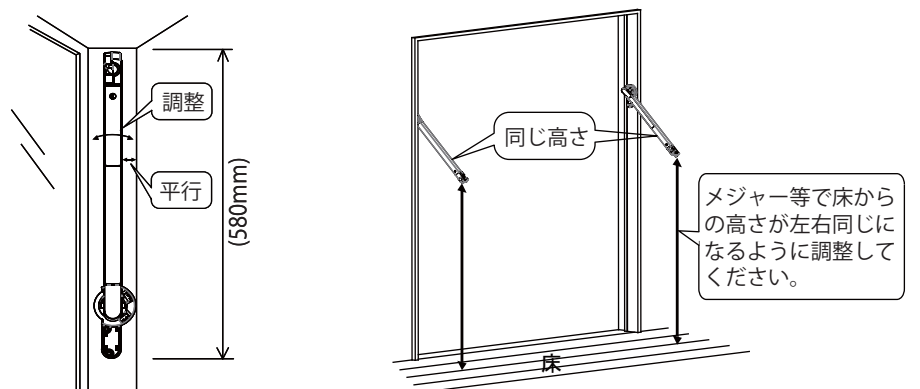


5 窓枠の下穴に台座の中央の穴を合わせ、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。

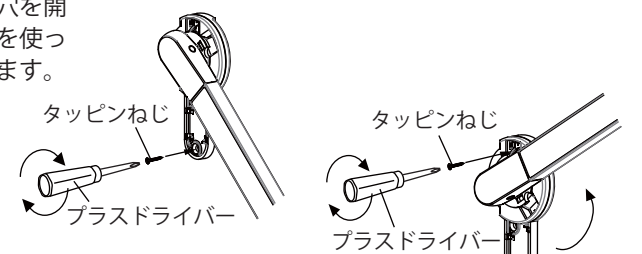


6 反対側の窓枠も 1～5 の作業を同様に行います。

7 次にアームの位置を調整します。まず、アームが窓枠と平行になるように調整し、さらにアームを手前に出したときに、左右のアームの高さが同じになるようにメジャー等を使って微調整します。



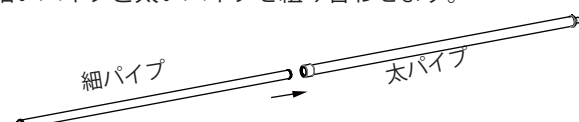
8 台座の下側の穴から窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。



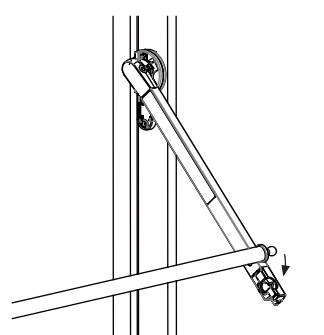
9 次にアームを物干しの位置に移動させます。続いて台座の上側の穴から窓枠に下穴を開けてから、プラスドライバーを使ってねじを奥までしっかり止めます。最後に全てのねじが、しっかり止まっているか確認してください。しっかり止まっていなかったら破損の原因になります。

10 4 で外した台座カバーとアームカバーを取付けます。

11 細いパイプと太いパイプを組み合わせます。

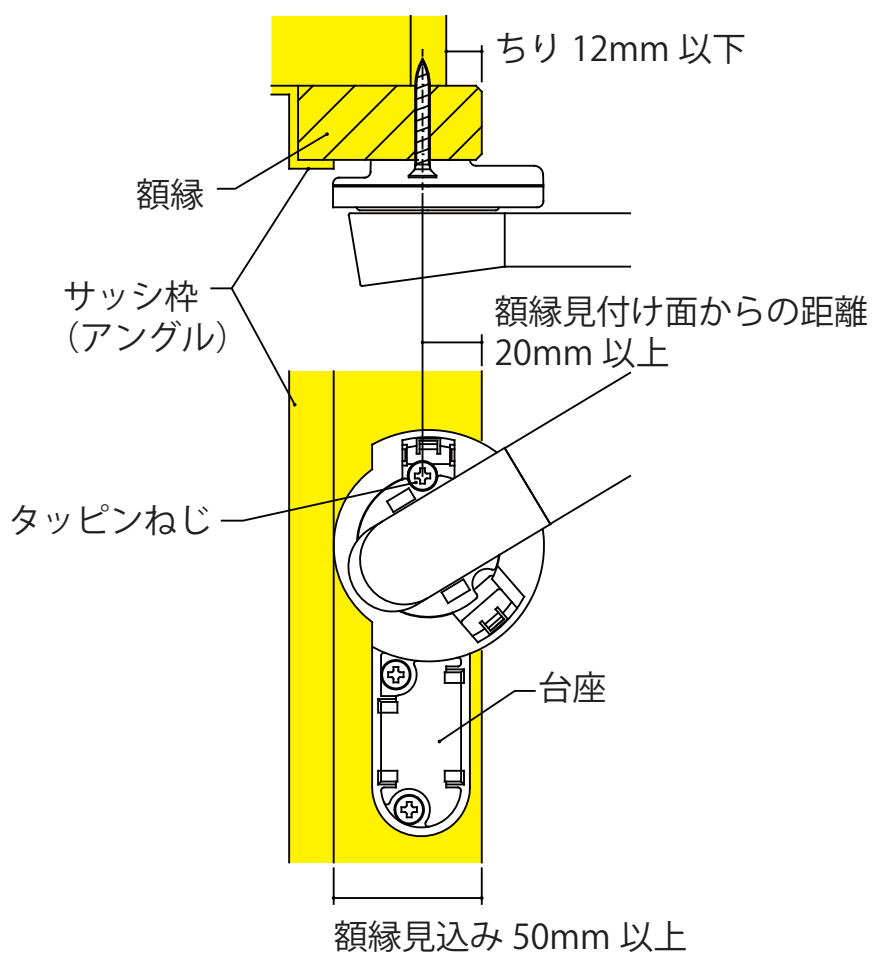


12 アームの先端の穴に竿端部のボールを差し込みます。(ロックがかかり、外れないことを確認してください。) 反対側も同様に取り付けます。最後に取扱説明書に従って操作確認を行ってください。なお、異常のある場合は、ご使用にならないでください。



施工条件の補足説明書

- 取付け面（見込み部分）が 50mm の場合は次のように、取付けて下さい。なお、ちりが 12mm 以上ある場合は取付けできません。



*額縁の見込み面が 50mm 以上ある場合は見込み面中央よりにバランスよく取付けしてください。